

第 93 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 28 年 11 月 8 日（月）～10 日（木）

金沢歌劇座（International Cryogenic materials Conference(ICMC)企業展示会場）

2. 来訪者 40 名程度

3. 説明概要

低温工学・超電導学会主催の ICMC 展示会場において、ITER に関するポスターを展示し、来訪者に ITER に関する資料を配布し、ITER 計画について説明および ITER 機構職員募集を行った。（ITER 統合支援グループ 閨谷）

4. 主な Q&A

Q : QST とは何ですか？

A : QST とは国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構の略称です。QST は平成 28 年 4 月に放射線医学総合研究所（放医研）の名称を変更し、日本原子力研究開発機構（原子力機構）の一部を移管統合することにより発足しました。研究分野は放射線医学、量子ビーム、核融合となっています。

Q : ITER で発電を行うのですか？

A : ITER は実験炉ですので、発電は行いません。実験炉で核融合に必要な基礎技術の確認を行い、次のステップ（原型炉・実証炉）に向かうための知見を得ることを目標としています。

Q : ITER はいつ完成し、エネルギーを取り出すことができますか？

A : 現在、トカマク複合建屋や本体組立建屋の建設が進められており、完成は 2025 年頃を予定しています。また、エネルギーの取り出しについては、完成から 5~7 年を想定しています。